

ミニレター  
**あぜみち通信**

\* \* \* \* \*

平成25年6月1日

150号

編集・発行：愛知県農業会議

**全国農業委員会会長大会が開催されました**

5月30日に東京都千代田区の「日比谷公会堂」において、平成25年度全国農業委員会会長大会が開催されました。本県からは39農業委員会の出席により、川上農業会議会長、市町村農業委員会会長、事務局長等総勢69名が参加しました。

大会前に、「第5回耕作放棄地発生防止・解消活動」の表彰式が行われ、担い手農家の意向把握による耕作放棄地の発生防止と解消を実現した岩手県の葛巻町農業委員会が農林水産大臣賞を受賞されたほか、農業生産法人、農業委員会等の30団体に農村振興局長賞等が贈られました。

大会開会にあたり二田全国農業会議所会長の大会趣旨説明等の挨拶、長島農林水産大臣政務官始め衆参両農林水産委員長の来賓挨拶がありました。

その後、議長に川上愛知県農業会議会長と西田石川県農業会議会長が選出され、大会が開始されました。

最初に、柚木全国農業会議所事務局長より、経過及び情勢報告がありました。

議事に入り、提案・要請決議として「基本農政の確立に向けた提案決議」、「国益を守れないT P P交渉に反対を



日比谷公会堂で行われた全国農業委員会会長大会

求める要請決議」の2議案、申し合わせ決議として「農業委員会活動の「さらなる取り組み」に関する申し合わせ決議」、「『情報提供活動』の一層の強化に関する申し合わせ決議」及び「第22回農業委員統一選挙に関する特別議決」の3議案、実行運動として、「全国農業委員会会長大会実行運動計画」が提案され満場拍手で決議されました。

最後に、要請決議等の実現に向け、ガンバロー三唱により閉会しました。



要請・意見交換に先立ち挨拶する川上会長（右端）

大会終了後、政府及び各党に対して決議事項の実現を求める要請行動が行われ、本県では、大会に参加した川上農業会議会長始め各市町村農業委員会会長等による愛知県選出の国会議員に対して決議事項の実現について要請を行うとともに、意見交換を行いました。

また、大会の翌日には、都市センターホテルにおいて、「農業委員会会長等研修会」を実施しました。

研修会は、「農業委員会活動と『人・農地プラン』の推進について」を全国農業会議所農地・組織対策部の市川主査、当農業会議農政課の鳥居課長及び農林水産省経営局農地政策課の齋藤経営専門官、「農業者年金の加入推進」を農業者年金基金の中園理事長を講師に迎え、講義方式により実施しました。

### 都道府県農業会議事務局長会議が開催されました

5月8日から9日にかけて東京都千代田区の「蚕糸会館」において、都道府県農業会議事務局長会議が開催されました。

松本全国農業会議所専務理事は、あいさつの中で、TPP問題は国から情報が出てこないが、農林水産省は衆参農林水産委員会の決議を重く見ている。「『攻めの農林水産業』の具体化の方向」で農地の中間的受け皿の整備が打ち出されたが系統としてどう対応するのか、組織としてどう望むのか。財政諮問会議の成長戦略が6月に出されるが、内容は不明だが厳しい内容が予想される。農業委員会に関する議員懇談会を4月に開催した。メンバーに系統組織の要望実現などを依頼するなどの報告

がありました。

協議に先立ち、平成25年2月5日に行われた都道府県農業会議事務局長会議以降の主要会務の報告がされました。

その後、協議事項1番目として、「平成25年度事業推進の重点について」 農業委員会系統組織の事業推進の重点、 農地・農業委員会制度をめぐる動きと対応について、 農地の保全及び有効利用に関する行政評価・監視結果に基づく勧告について、 農業委員会活動の「見える化」の取り組み等について、 担い手・経営対策の推進について、 会計実地検査の実施状況について説明がありました。

協議事項2番目として、平成25年度全国農業委員会会長大会について、提案議案、申し合わせ決議及び実行運動について協議を行い、提案決議として、「基本農政の確立に向けた提案決議」、「公益を守れないTPP交渉に反対を求める要請決議」とする。

申し合わせ決議として、農業委員会活動の「さらなる取り組み」に関する申し合わせ決議、「情報提供活動」の一層の強化に関する申し合わせ決議及び第22回農業委員統一選挙に関する特別決議、また、実行運動として、全国農業委員会会長大会実行運動計画が了承されました。

この他、「全国農業新聞・全国農業図書」の発行状況、普及強化、専門相談員の認定、農業委員等の公務災害補償制度等について説明がありました。

#### **常任会議員会議（5月）の審議状況及び農政関係について**

5月16日の午前に愛知県白壁庁舎において、農地法等に係る愛知県知事等からの諮問に対する答申を審議する常任会議員会議を開催しました。

5月の諮問は、農地法第4条に基づく転用事案29件(平成24年5月22件)、12,432㎡(同10,848㎡)、同法5条に基づく転用事案222件(同184件)、164,779㎡(同128,373㎡)についてそれぞれ審議の結果、いずれも諮問のとおりで差し支えない旨承認されました。

また、午後から農政関係の会議を開催し、農業会議の主要事業、平成25年度主要行事予定及び農業委員会系統組織の活動内容を農業会議事務局長、愛知県農林水産部の主要事業を県農林水産部石川農業振興課長から説明しました。

#### **愛知県市部農業委員会会長会春季定例総会が開催されました**

5月21日に瀬戸市蔵所町の「瀬戸蔵」において、平成25年度愛知県市部農業委員会会長会春季定例総会が開催されました。

開催地である瀬戸市の加藤農業委員会会長、増岡市長及び吉永市議会議長から歓迎の挨拶があり、その後、寺島市部農業委員会会長会会長の開催の挨拶がありました。

また、東海農政局経営・事業支援部経営支援課の工藤課長補佐から来賓代表で祝辞がありました。

総会では、平成24年度事業報告及び収支決算書の承認についての議案が提出され、原案どおり承認されました。

引き続き、名古屋市農業委員会から「許可書・届出書の添付書類の取り扱いについて」、半田市農業委員会から「市街化区域の農地転用について」の2議題が提案され、各市農業委員会による意見交換が行われました。

次に、情報提供として「農業委員会等における女性の参画促進について」が、東海農政局工藤課長補佐から説明がありました。

また、午後からは愛知県が豊田市八草町、瀬戸市南山口及び上之山町地内に整備をした、「知の拠点あいち」の施設見学を実施しました。

#### **海部地区農業委員会協議会通常総会が開催されました**

5月14日に、海部総合庁舎内会議室において、海部地区農業委員会協議会通常総会が開催されました。

総会では、平成24年度事業報告及び収支決算、平成25年度事業計画及び収支予算等の議案が提出され、全て原案どおり承認されました。

総会終了後、(社)愛知県農林公社より保有土地の状況や保有土地売り渡し等のための買い受け農家の公募条件等について説明がありました。

#### **農業者年金新任担当者研修会及び担当者会議が開催されました**

5月10日に名古屋市中区の「J A あいちビル大会議室」において、平成25年度農業者年金新任担当者研修会及び年金担当者会議を愛知県農業会議と愛知県農業協同組合中央会の共催により、市町村及びJ A グループの担当者約100名の出席のもと開催しました。

開会の挨拶で石黒愛知県農業会議総務課長は、平成25年度からの中期計画が始まり、平成29年度までに加入者累計13万人、20歳から39歳までの基幹的農業者従事者の同年齢層の被保険者の割合を20%に拡大する目標が示され、加入促進の依頼を行いました。また、都築愛知県農業協同組合中央会地域振興部長も農業者年金制度は公的年金制度として、農業関係者が大変苦勞して勝ち取ったものであるため、加入促進をお願いしたいと述べられました。

研修会では農業者年金制度の概要を農業会議の職員から説明し、午後からの担当者会議では、中園農業者年金基金理事長自ら「農業者年金制度をめぐる情勢について」の報告がありました。

また、伊藤愛知県農業協同組合中央会地域振興部主管による「平成24年度県内の加入実績」、「平成25年度新規加入の目標設定と加入推進の取組みについて」等について、麻生愛知県農業会議主任より「適用・収納関係事務」、「資産の運用状況」等の説明がされました。

### **全国農業新聞東海・北信越ブロック会議が開催されました**

5月27日に福井県あわら市の「グランディア芳泉」において、全国農業会議所主催による全国農業新聞東海・北信越ブロック会議が開催されました。

伊藤情報事業本部長からは、全国4か所でブロック会議を開催していること、6月に成長戦略が発表され、農地の中間管理機構が入るが仕組み等は不明ではっきりしないなどと挨拶がありました。また、地元の福井県農業会議の田中事務局長からは歓迎の挨拶がありました。

その後、協議が行われ、全国農業会議所から平成24年度新聞発行部数は12万部と前年から6,500部の減少し、平成25年4月には11万部を切り危機的状況な報告と、今後の普及目標及び普及推進に向けた取り組み内容の説明や、消費税引き上げに対応した購読料の水準について説明がありました。

### **全国農業委員会会長大会実行委員会及び臨時都道府県農業会議局長会議が開催されました**

5月31日に中央労働基準協会ビルにおいて、全国農業会議所主催により、全国農業委員会会長大会第1回実行委員会及び臨時都道府県農業会議事務局長会議が開催されました。

実行委員会では代表要請報告に先立ち、二田会長から全国農業委員会会長大会のお礼を述べられました。

その後、農林水産省及び各政党への代表要請の状況を各県農業会議、各農業委員会及び同行した全国農業会議所から報告しました。

実行委員会終了後、臨時都道府県農業会議事務局長会議に入り、「農地の中間的受け皿など最近の農地・農業委員会制度をめぐる情勢について」を稲垣農政・企画部長から説明がありました。

中間管理機構は、農地保有合理化法人を前提に検討されているが、この仕組みで本当に農地の利用集積を進むのか、どのような枠組みがいいのか、多くの意見が出されました。

## お知らせ

### 県農業会議に農地・農業者年金総合相談員を設置

県農業会議では、6月より農業会議内に農地相談員を設置し、農地・農業者年金等に関する相談を受付けています。お気軽にご相談ください。

相談内容	農地の貸借・売買等に関する相談、農業者年金に関する相談
相談時間	毎週火・水・木・金曜日、午前9時～午後4時まで（正午～午後1時は除く）
問い合わせ先	TEL 052-953-5877 ・ FAX 052-953-0399
農地相談員	加藤 博一

## 今後の主な行事予定

- 6月 4日 市町村農業委員会会長・事務局長会議（水産会館）
- 6月 7日 農地情報管理システム新任者研修会 両備システムズ（白壁庁舎）
- 6月12日 農の雇用事業指導者養成研修会（中村区）
- 6月13日 農地情報管理システム新任者研修会 ソリマチ（白壁庁舎）
- 6月18日 常任会議員会議（白壁庁舎）
- 6月21日 愛知県稲作経営者会議第1回役員会（白壁庁舎）
- 6月27日 農の雇用事業事業説明・研修会（中村区）